



サイエンス・ コミュニケーション トレーニング 特別セミナー

日本を代表する科学ジャーナリストと元 NHK ディレクターが
「サイエンス・コミュニケーション」のツボとコツを伝授！！

日時：平成 27 年 **2月24日** (火) 14:00-17:00

プログラム

14:00 - 15:00
**「科学技術リテラシーの
向上をはかる」**
科学ジャーナリスト 餌取章男

コーヒーブレイク ☕

15:30 - 17:00
**「恋愛下手？
それじゃ科学は伝わらない
～何が人をその気にさせるのか～」※**

(独)物質・材料研究機構 広報室
チーム長 小林隆司
※実習で使用しますので、出席される方は
「はさみ」をご持参ください。

定員：50 名

場所：(独)物質・材料研究機構
国際ナノアーキテクトニクス研究拠点
(MANA)
WPI-MANA 棟 1 階オーデトリウム



事前申込制

下記アドレス宛に“セミナー参加希望”という件名で、
「氏名・所属・学年または役職名」をご記載の上、
電子メールをお送りください。※申込多数の場合は先着順となります。

mana-pr@ml.nims.go.jp





餌取 章男（えとり あきお）

科学ジャーナリスト

日本教育テレビ（現テレビ朝日）および東京 12 チャンネル（現テレビ東京）にて、プロデューサー、ディレクターとして主に科学番組の制作・演出・出演に従事。1970 年日本経済新聞社に移り、「サイエンス」（現日経サイエンス）を創刊、編集長を 16 年務める。

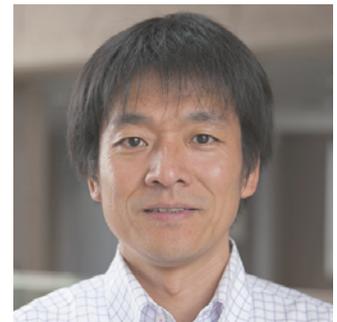
講演者より一言「日本は科学技術立国をうたっています。それなら、科学や技術にできるだけ多くの人に関心をもつことが大切でしょう。でも実際には…」

小林 隆司（こばやし たかし）

独立行政法人物質・材料研究機構 広報室 チーム長

1993 年より NHK 科学番組ディレクターとして 18 年番組を制作、「ためしてガッテン」「クローズアップ現代」「サイエンス ZERO」など多数。2011 年より（独）物質・材料研究機構、YouTube 上で展開している「まてりある's eye」など大人気コンテンツを発信中。

講演者より一言「専門家以外の人に科学を伝えるとき、重要なことはなんでしょう？ 皆さんが考えたこともなかったような、研究成果を伝える技術。テレビ局が使うあの手とこの手、その一部をお伝えします。（恋愛にも応用できるかも?!）」



筑波大学 & (独) 物質・材料研究機構 MANA 連携企画 T-ACT :

“サイエンス・コミュニケーショントレーニング”

私たちと一緒に世界トップレベルの研究センター（独）物質・材料研究機構の「国際ナノアーキテクトニクス研究拠点（MANA）」で、サイエンス・コミュニケーション能力を磨いてみませんか？

- 現在 4 月に開催するサイエンス・ショー
「ナノ戦隊 スマポレンジャー」の準備中です！
- そのほか、希望者は、著名研究者へのインタビュー
取材やサイエンス関連記事の執筆、
web サイト作り、刊行物の編集等にも参加できます。
- 本 T-ACT 企画の参加者には MANA 拠点長より修了証
が授与される予定です。



プランナー：青柳 隆夫（大学院数理物質科学研究科 教授）
連絡先：電話 029-860-4710、電子メール mana-pr@ml.nims.go.jp
(NIMS MANA アウトリーチチーム葉山)



承認番号：14048P